

■令和3年11月定例記者会見

日時：令和3年11月17日(水) 午後4時～5時

場所：吹田市役所高層棟4階特別会議室

市からの発表案件に対する質疑応答要旨

吹田市広報課

吹田市からのご説明は以上となります。それでは記者の皆様からご質問をお受けしたいと思います。ご発言の際には挙手をいただきますようお願いいたします。よろしくお願いたします。

記者

サンタさんもびっくり吹田市お買い物キャンペーンについてお伺いしたいのですが、1回あたり付与上限が2,000円でよろしいでしょうか。

吹田市担当者

そのとおりでございます。

記者

これに関してどれくらいの予算を準備していて、たとえばあまりにも殺到した場合、途中でなくなってしまったり、そういった契約とかがもしあれば、予算が決まっているようでしたらそれも伺えたら嬉しいです。

吹田市担当者

先程ご説明させていただきましたように、9月定例会で補正予算を提案させていただいておまして、その中ではペイメント事業者にお支払いをさせていただくポイント分と、事務処理を委託いたしますので、その委託経費、これらすべてトータルでございますが、約15億3500万円でございます。二つ目の質問でございますが、殺到して予算を上回る恐れがあった場合ということでございますが、これはそういったことも当然想定しておまして、そういったことが見込まれた場合につきましては、委託事業者の方が、事業の中止手続に入る予定になっております。その辺の可能性はあるということは見込んでおります。以上でございます。

記者

つまり、追いで何か予算措置をするということではなく、あくまでこの予算で。

吹田市担当者

その通りでございます。追加で予算を組むということではなくて、議会で議決いただいた予算の範囲内で実施をさせていただくというものでございます。

吹田市広報課

他にございませんでしょうか。

記者

3回目のワクチンという状況なのでございますけれども、今のタイミングでいうと、11月末でとりあえず2回目の接種が終わるという感じでこの80.6%っていうのは結構進んでいる部類に入っているのではないかと、そのあたり市長はどういう風にこの接種率っていうのを見ているのかお伺いしたいです。

市長

大きな差っていうのは、そうはないと思います。ただ、ゴールが 100%かといいますと、なかなかそうはならない。十分周知も行き届いているとは思いますが、なにか理由があって 1 回目を受けておられないという方が残っているのだろうなと思っています。それでいうと現在の接種率は当初の想定を超えている状況です。

記者

実際、ワクチンが進んだっていうこともあろうかと思いますが、かなり今、新規感染者数が落ちている状況だっていうことは、市とか全自治体がですね、ワクチン接種に取り組んだ成果が出ているというかそのような見通しというか手応えはどういう風にお考えでしょうか。

市長

専門家でも意見が分かれているところで、期待を込めて言いますと、効いているのかなとは思いますが、ブレイクスルー感染というのが今、海外でどうも起こっているようで、その株が本当に今の我が国のデルタ株と同じかどうかそれさえもわかっていない。もし、同じであれば、由々しきことですし、違う株であれば新たな対策が必要ですし、そこは注目しているところです。とりあえずできることは、基礎自治体としてできることは、ほぼ全てやったかなという気持ちではおります。

記者

問題はこの 3 回目なのですが、実際コールセンターも初期にやった時に、かなり混乱したという状況だったと思うのですが、だいぶ落ち着いたとはいえ、今回のコールセンターの状況というのは一時期に比べたらだいぶ準備はできる状況なのかなと。そこがどういう体制なのか教えてほしいです。

吹田市担当者

コールセンターにつきましては、どこの自治体でも当初は混雑いたしました。今回 3 回目に関しましては、1 回目・2 回目の振り返りを踏んでいます。接種券の発送を一気に送らずに、1 か月に 2 回に分ける工夫を考えております。また、個別接種も含みました予約システムを、吹田市の方で実施しようと考えております。なるべく混乱を避けられるよう努めてまいります。

記者

具体的に教えてください。

吹田市担当者

1 か月の最大人数を 5 万 8000 人と考えております。コールセンターと予約システム、接種券を分けてみますと混乱を避けられると考えております。

副市長

高齢者の 1 回目は 3 万 9000 人、翌月は 5 万 8000 人を一括で送って分散するのと、先ほど説明させていただきましたけれども、クリニック等含めて吹田市が集団も個別も一括で予約を受け付けるようなシステムを考えていますので、その両方をやれば一回目の混乱は避けられるという風には考えてはいます。

吹田市広報課

そのほかご質問はございませんでしょうか？

記者

先ほどシステムといったお話があったのですが、そのシステムというのは、前回までの接種ではなかったものをこれから作るということでしょうか

副市長

基本的には今までは、集団接種分、吹田市が実施する集団接種分だけ予約をさせていただいていたわけですが、個々の分は各クリニックへ予約を入れるということで、クリニックによっては電話が鳴りっぱなし、かからない、そういう問題があったのを吹田市の側が医師会と話しをさせていただいて、その枠を吹田市の方へいただいて予約を入れていくと。それで1回目はかかりつけの方でないとクリニック側も副反応が起きるかというご心配もあったわけですが、2回接種が終わっていますのであまりそこにこだわらないということを前提に、吹田市の方で受け付けさせていただいて割り振っていくとか、それぞれのクリニックを予約できるのを一括で管理させていただく、かかりつけの方じゃない方もいけるようにということで今、話し合っていてシステムを検討しているということです。

記者

わかりました。

吹田市広報課

そのほかございますでしょうか。ご質問はよろしいでしょうか。会見を終了させていただきます。本日はありがとうございました。